第 944 号
受
-6. 1. 16
付
岩倉市議会

令和６年１月１６日

岩倉市議会

議長　関　戸　郁　文　　様

会 派 名 創政会

代表者名 須 藤 智 子

知っておきたい財政の仕組み（地方議員研究会）報告書

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

１　実施日　　　令和５年１０月６日（金）

２　研修先　　　リファレンス国際ビル貸会議（東京都千代田区）

３　出席人数及び氏名

１名	梅村　均	

４　復命事項

別紙のとおり

地方議員研究会「知っておきたい財政の仕組み」報告書（創政会）

作成者：梅村均

【日　程】　令和５年10月６日（金）
【場　所】　リファレンス国際ビル貸会議（東京都千代田区）
【参加者】　梅村均
【テーマ】　知っておきたい財政の仕組み
【講　師】　黒瀬　雄大氏（元交野市議会議員/元交野市役所財政担当職員）
【主な内容】

（財政はなぜ重要か）

・財政がわからない議員は職員に相手にされない。自治体３つの重要ポスト：企画、人事、財政
・議員に必要なのは、細かい制度の理解ではなく、おかしいときに指摘できること。
・経常収支比率は、財政の力強さを示す。また決算カードで数字をチェックすること。

（自治体の財政は普通ではない。）

・現金主義の落とし穴①実質収支　→現金主義では、今年の収支がいくらなのかがわからない。市の説明で、「今年も黒字です」だけでは、今年の収支の実態はわからない。官庁会計では、繰越金を収入としている。実質収支は、今年度末の現金がいくらあるのかしかわからない。今年の収支を把握するには、単年度収支を確認すること。
・現金主義の落とし穴②市債と基金　→官庁会計では、借金は収入になり、返すと支出になる。また、基金を取り崩すと収入になり、積み立てると支出になる。
・長期（中期）の財政計画を出してもらうこと。
・財政はくらべてみないとわからないので、類似団体比較カードで分析すること。
・本市は特別な特徴はないが、類団と比較して、歳入、支出額がともに低い。このような傾向は大都市近郊の自治体にみられる。

（職員に対抗するための情報は公開されている）

・予算編成のサイクルを知ること。（テキスト参照）職員に適切な時期に働きかけること。
・予算編成基本方針を手に入れると良い。（一般的な市では毎年10月頃起案される）
・決算審査意見書は宝の山。一般質問にそのまま活用できる。
・「予算編成の留意事項」をチェックすること。国が地方にやって欲しい事業一覧である。
・１つの課で１００万円くらいの節約は簡単にできる。無駄なく使われるようチェックを。

（決算委員会のポイント）

・議会の審査は、「効率的に運用されているか」「当初の目的を達成できているか」など事業適正性の審査がメイン。監査委員は、外観的監査で、「数字があっているか」「正しく保存されているか」などがメイン。
・事業成果との比較や一人、一食あたりなど単位当たりや他市との比較の金額確認で高いのか安いのか判断を。なぜ高いか事情を説明してもらうこと。　＊職員会議出席のコスト発生にも注意

【所感】

議員力アップに向け、財政の仕組みを学ぶ機会となった。本市の財政の特徴から、大都市近郊である地の利を活かした効率的な財政運営の考え方も取り入れたいと感じた。決算審査を終えたばかりであるが、本市の財政状況を振り返りながら、当初予算の審査に向け整理し活かしたい。